



## 豊かな自然や景観を後世に残す みどりのボランティア植樹

みどりのボランティア植樹が2月15日、合戸地区内の保安林で開催されました。豊かな緑の自然や景観を後世に残すこと、松くい虫被害にあった海岸松林を本来の飛砂防備・防風機能を有した防災林に復元することが目的です。

10回目の実施となる今回は、300本の抵抗性クロマツを植樹。参加者は、防風林を守り育てることの大切さを学びました。



## 御 B & G 御前崎海洋クラブが受賞 前崎の海の楽しさ伝える

B & G 御前崎海洋クラブが2月4日、「2019B & G P R大賞」で最優秀賞を受賞したことから、柳澤市長へ受賞を報告しました。この「P R大賞」は、全国389自治体に所在する海洋クラブ・センターの魅力を発信し、広報活動を「見える化」することを目的としています。PR動画を撮影した永井浩さんは「この動画を見てもらえると、子どもたちが御前崎の海で楽しんでいる様子が分かる」と笑顔で話しました。

## 整形 地域医療の充実を図るために 形外科の手術と入院再開

市民会館で「リウマチ治療最前線」と題した市民公開講座が2月15日に開催されました。同講座では、浜松医科大学附属病院の鈴木基裕先生が手術による回復の可能性を講演しました。

4月から、鈴木先生を含めた3人の医師が市立御前崎総合病院に赴任され、14年ぶりに関節リウマチを含めた整形外科の手術と入院ができるようになります。



## 地 御前崎ふるさとメニューを提供 場産品を市立病院でPR

市立御前崎総合病院で2月5日、市内の地場産品を使った病院食が患者や利用者にも振る舞われました。食材を提供したのは市農業振興会。市内で収穫される1次産品の魅力をアピールし、地産地消を促すことが目的です。ささみと大根のスープ、一黒しゃもの照り焼き、キャベツとトマトのサラダ、イチゴ、メロンなどが食卓に並び、ベゴニアの花や多肉植物も食卓に彩を加えました。